

「2023年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学総合人間学部2年 久我 美里

① 学習成果

私は、韓国に親戚が在住している関係で何回か渡韓経験がある。もちろんあちらは韓国語話者ではあるものの、日本語を解し日常会話で使うような語彙は使うことができるという状況であった。それに甘えた結果、聞き取り能力は身についた一方で話す・書く・読むという能力はほとんど育たなかった。しかし大学に入学して周りを見渡すと、様々な国から来た留学生が流暢に日本語を話す姿や第二外国語を熱心に勉強して身につけようとする学生が多くおり、母国語ではない言語を操る彼らを格好いいと思った。と同時に、一から努力する必要があるにも関わらず見事な語学能力を発揮する彼らに比べ、今まで恵まれた環境にいながらも何もしてこなかった怠惰の極みのような自分の態度が恥ずかしく思え、悔しさも感じた。とは言え特に K-POP や韓流ドラマを好むわけでもなく、学習意欲がいまいち湧かないのが現実であったため、強制的にでも韓国語を勉強できる環境に身を置きたいと考えた。これが私が今回のプログラムに参加しようと思った動機である。

その動機を鑑みると、今回得た成果はかなり満足のいくものであったと評価できるだろう。当初望んでいたような韓国語ネイティブの若者との交流機会はほとんどなかったものの、自分と同じようなレベルの語学学習者と共に学び、校外でも出来る限りの韓国語を交えながら会話することで自然に韓国語が出てくるようになり、周囲に刺激を受けて「もっと話せるようになるために勉強したい」という気持ちが自然に生まれた。最終的には、こちらが日本人であることを察して日本語で話しかけてくる相手に対し、自分の母国語よりも先に韓国語の返事が飛び出てくるような状態にまでなった。それほどまでに外国語を使用する環境が整っていたということである。

話すことに対する抵抗感は無くなった一方で、読み書きに関しては同じクラスの人と比べて大きな実力差を感じ、長期的な学習の重要性を再認識することになった。授業では一人一人音読する時間があったのだが、周りがスラスラと読み上げる中、自分は音の把握に必死で単語の意味や文意を理解する余裕がなく、毎回つかえながら読んでいた。こればかりは継続して韓国語の文章を読む練習をし続けるしかないため、この経験をしたことによって帰国後の学習目標を一つ得られたように思う。

また、3週間とはいえどもあれほど濃い日々を海外で過ごすのは初めてだったが、それによって外国に対する視点が変化したように感じる。今までは、海外での生活だけではなく、異質な文化や国民性を持つ人々に対しても漠然とした不安感や警戒心を持っていたが、実際に彼らと日常を共にすることを通して彼らもただ自分と同じ人間なのだかと強く実感した。ある程度その国の行動規範や基準に合わせなければいけないと勝手に思いこんでいたのだが、道ゆく人々の会話に耳を傾けたり店員の人と会話したりする中、意外と外国人丸出しでも暖かく接してくれることが分かり目から鱗が落ちる気分だった。

今プログラムへの参加によって海外旅行へのハードルがぐんと下がり、自身の文化圏から抜け出て様々な経験を得られる機会を自分で掴みに行こうと思えるようになった。非常に有意義な体験だった。

②海外での経験

午後の自由時間や週末を利用して、主にソウル市内の観光地を巡った。自分自身はそういった観光地には特に関心がなく、個人的に渡韓するとなると逆に行かない場所ばかりだったので、今プログラムで仲良くなった人たちと一緒に見て回るの新鮮で面白かった。

また、私は元々様々な国の食文化に関心を持っているため、どうせなら現地の人々の日常的な食事、つまりその国に根付いた食文化を等身大で体験したいと思い、外国人受けするような食べ物、特に日本で「韓国料理」と言えば思い浮かべられるような食べ物(サムギョプサルやチーズダッカルビなど)は逆に避け、出来るだけ帰国したらめったに食べられない1人用の土鍋料理などを選ぶようにしていた。ただ、上記のような所謂「韓国料理」を提供する店でも日本とは異なる点が幾つもあって興味深い比較対象となった。日本の「回転寿司」と海外での「回転寿司」の差異と同じようなものであろう。

加えて、最近の日本の若年層は韓国の若者文化を輸入して楽しむ傾向が見られるが、その参考とされている若者文化を実際に体験するために流行の食べ物を食べたり人気なエリアに赴いたりして日本との比較を試みもした。当然発祥地とも言える場であるため、店の数や価格などはかなり手軽に楽しめるようになっている、より充実した環境であるように感じた。

街中を歩くだけでも、看板や張り紙のハングルを解読しようとしながら歩き回ることになったため謎解きをしているような気分で、徒歩の移動は全く苦痛では無くその時々に行っているプログラムの参加者との親睦も深められる時間になった。日数が経つにつれよりスムーズに読めるようになったことに加え、スピーキング能力の向上や気恥ずかしさの払拭により段々と積極的に韓国語を用いて互いに会話するようになったのが個人的には面白かった。これが海外留学なんだ、と実感した瞬間である。

③プログラム内容

午前 9:00~13:00 まで、50 分区切りの授業を 4 限受けた。基本的に午後は自由時間だったが、第 2、3 週目には週に 2 日 UIC の講義聴講、週 1 で特別講義を受ける時間があった。そして第 2 週目の最後には、日本で用意してきたプレゼンテーションを行う場が設けられた。

特別講義は簡単な日本語を交えつつ分かりやすい英語を用いて講義して下さったが、UIC の講義は完全なる専門分野についての英語の授業、言うなれば E2 の授業であった。

聴講に関しては自身の目的の的確な認識に基づく判断力が必要とされると感じた。確かに他国視点での講義は興味深いものであるかもしれないが、今プログラムの参加目的が韓国語の語学能力向上や文化体験ということであれば、教室で英語の授業を受けるよりも街中へ出て特有の雰囲気を感じたり市政の人々とコミュニケーションを取ったりする方が有意義な滞在になる場合もあるだろう。多様な選択肢の中から何を選びとるべきか、明確な理由と共に意識し続ける必要のある 3 週間ではなかつたらうか。

④進路への影響について

現実的には難しいが、3ヶ月やそれ以上での長期留学でもっと滞在したいと思った。また、キャリアを重ねる上で、韓国は無視できないほどの影響力を持ちつつある国である。行き来しやすいという地理的な要因や文化交流の結果、相互に観光客が増えている現状、英語と同様に学習することで自身にとって好ましい状況を作り出すことのできる言語であると考え。仕事関係だけではなく、個人的に何度も訪ねたい国であるため、自分がより快適に過ごせるようになるためにももっと語彙を増やし文章力を向上させていきたいと強く感じるきっかけとなった。

⑤韓国語で一言

사실 처음에는 이렇게까지 재미있고 도움이 될만한 유학이 될거라고는 상상도 못 했다.

새로운 인간관계도 생겼고 잊을 수 없는 소중한 추억을 많이 만들게 되었다. 그냥 일본에서 적당히 한국어를 공부하면서 쓸 때 없는 시간을 보내기보다 훨씬 의미 있는 날들이었고 그 동안 한순간도 후회하지 않았다.

우리가 이 3주 동안 마음 놓고 즐길 수 있었던 것은 이 프로그램을 담당해 주셨던 분들과 어학당의 선생님들 덕분이다. 진심으로 감사드린다.

⑥延世大学校国際学部の講義を聴講した感想

First, I took part in the class of TOPICS IN GENDER STUDIES. In the lectures, I learned mainly about the position of women in Choson dynasty by using historical cultural works such as literature, artworks and so on. It was interesting for me that Confucianism, which had given strict social norms to people living in the Korean peninsula, thoroughly limited women's freedom and rights resulting in a stable society and a lasting nation. This means that the old nation was able to exist by sacrificing women. Although a long time has past, it seems that men have still big power in a society in Korea, because Confucianism is firmly embedded in the society and people's mind so I think we should try to be aware of hidden gender inequality in people's works in this era, too.

Second, in the lecture of Professor Kahm, I learned about Socio-Economic stroll through 20th century Korea. Thanks to the Professor's English which was in appropriate speed and easy to understand for us, I could instantly understand the events and some problems remaining until now. In Japan, we don't have enough opportunity to learn another country's history deeply, so this lecture let me know the point of view which is hard to know just by studying in my own country. Thank you so much.